

大会参加選手の心得

※特別な事情のないかぎり、選手会・開会式には必ず参加すること。不参加の場合は出走が認められないことがあります。また、表彰式・閉会式にも参加するように心がけてください。

〔インスペクションについて〕

* 競技役員の指示に従い、次の点に注意して行うこと。

- スタート番号がはっきり確認できるようにゼッケンをつける。
- コースのそばでコピー滑走をしない。
- コース内での滑走およびターンをしない。
- 競技本部から指示・指定された方法で行う。

(以上のことに違反すると失格になることがあるので注意すること。)

〔競技について〕

- スタート時刻に遅れないこと。(棄権者があった場合、スタート順が繰り上がることもある)
- 旗門の通過、不通過の確認を必要とする場合には、大きい声で旗門審判員にたずね、指示をうけること。
(旗門審判員以外の人の判断・指示は無効です。)
- 途中棄権(DF)をする場合は、はっきりと、その旨を旗門審判員に告げゼッケンをはずしてコース外に出ること。(ゴールに入ってはいけません。)
- 旗門不通過を自覚しているとき、あるいは、途中棄権(DF)をした場合には、以後のコースを滑らないこと。(競技規則614-5)
- 再レースを要求するような事態が生じた場合には、直ちにコースから外れ、事情を Jury に伝え再レースを求めること。以後のコースを滑ってはいけません。(競技規則631-1-3) (競技の進行上、再スタートを認める事があっても、その申出が認められない場合は、再レースとして認められません。なおゴール後のアペールは認められません。)
- 競技中、後続の選手が迫っている場合には速やかにコースを譲ること。
- 転倒したままゴールした場合は、身体全部がゴールラインを通過しないとゴールは認められません。
- 抗議については、定められた時間内に、定められた方法で申込むようにしてください。